

分 類：臨床医学 V (CC1)

授業科目名：整形外科学 / リハビリテーション科 臨床実習 (Orthopedics・Rehabilitation Medicine)

対象学年：5 年次 必修

時間割コード：71643002-11

1. 主任教員

宮腰尚久 (教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

2. 担当教員

宮腰尚久 (教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

本郷道生 (教授、保健学科 理学療法学専攻、6532)

粕川雄司 (准教授、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

野坂光司 (准教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

土江博幸 (講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

永澤博幸 (講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

木島泰明 (講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

白幡毅士 (助教、高度救命救急センター、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

工藤大輔 (助教、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

木村竜太 (助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

尾野祐一 (助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9:00-17:00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

【授業のねらい】

医師として、整形外科関連疾患や外傷に適切に対応できるように、整形外科の基本的知識、態度、そして技能を身につける。授業では主として基本的知識および基本的臨床手技を身につけることに主眼をおく。また、リハビリテーション医療の実際と種々のテクノロジーの学習を通して全人的アプローチを理解し、興味を深める。また、関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBM について学ぶ。

【授業の概要】

医学教育モデル・コア・カリキュラムで示された以下の項目を中心に、病棟実習、外来実習、手術実習、講義を通じて学習する。

A-1-1 医の倫理と生命倫理

・臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。(1-1)

A-1-2 患者中心の視点

・インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。(1-2)

A-1-3 医師としての責務と裁量権

・診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。(1-1,1-2,2-1~2-7)

A-2-1 課題探求・解決能力

・課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。(5-1~5-5)

A-2-2 学修の在り方

・講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(5-1~5.5, 6-1,6-2)

A-3-1 全人的実践的能力

・病歴を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。(2-1~2-8, 4-1~4-5)

A-4-1 コミュニケーション

・コミュニケーションを通じて良好な人間関係を気づくことができる。(2-1~2-8,4-7)

A-4-2 患者と医師の関係

- ・患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取り扱いができる。(1-1,1-2,3-5,4-5)

A-5-1 患者中心のチーム医療

- ・医療チームの構成や各構成員の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。(2-5,2-6,3-6,4-7)

A-6-1 安全性の確保

- ・実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。(2-5,2-6,3-5,3-6,4-5,4-7)

A-6-2 医療上の事故等への対処と予防

- ・医療上の事故等と合併症の違いを説明できる。(2-5,2-6,3-5,3-6,4-7)

A-6-3 医療従事者の健康と安全

- ・標準予防策の必要性を説明し、実行できる。(3-4,3-5,4-4,4-6)

D-4-2 診断と検査の基本

- ・筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。(3-3,4-2)
- ・筋骨格系画像診断の適応を概説できる。(3-3,5-3)

D-4-3 症候

- ・運動麻痺・筋力低下 (3-2,4-2)
- ・関節痛・関節腫脹 (3-2,4-2)
- ・腰背部痛 (3-2,4-2)

D-4-4(1) 疾患

- ・四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。(3-3,4-2,4-3,4-6)
- ・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。(3-3,3-4,4-3,4-4)

F-2-14 リハビリテーション

- ・リハビリテーションの概念と適応を説明できる。(3-3,3-7)
- ・リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。(4-7,4-8)
- ・理学療法、作業療法を概説できる。(3-3,3-7)

関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)

【授業の進め方】

1. 病棟実習

各自1～2例の症例検討を通じて上記の目標を達成する。

画像検査所見の検討、医療面接および身体診察を行い、文献的考察を加えて発表し、その後担当教員の指導を受ける。

診断過程や手術適応について考察するが、その際、参考書の受け売りにならないように注意すること。

実習期間中に当該症例を指導医とともに診察を行うこと。必要に応じてそれを申し出ること。

2. 外来実習

医療面接および身体診察や画像所見読影の基本、リハビリテーションの実際などを実習する。指導医、療法士の患者への対応を観察し、接遇の仕方を学ぶ。

3. 手術実習

手術に参画し、局所解剖の理解を深めるとともに、指導医のもとで Student Doctor に認められた医行為(簡単な縫合など)を行い、基本的臨床手技の習得に努める。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

【整形外科】

標準整形外科学(医学書院)

TEXT 整形外科学(南山堂)

新整形外科学・外傷学（文光堂）
整形外科 MOOK シリーズ（金原出版）
新図説臨床整形外科講座（メジカルビュー社）
図説整形外科診断治療講座（メジカルビュー社）
最新整形外科学体系（中山書店）

【リハビリテーション科】

リハビリテーション医学・医療コアテキスト第2版（公益社団法人日本リハビリテーション医学会 監修，医学書院発行，
定価 4,400 円（本体 4,000 円+税 10 %）
整形外科 術後理学療法プログラム 第3版（メジカルビュー社）

5. 成績評価の方法

臨床実習に無断欠席した者、レポートを提出しない者は臨床実習を完了したことはない。
レポート提出は、Word 形式または PDF 形式の添付ファイルとしてメールにて送信する。
提出先メールアドレス：seikei@doc.med.akita-u.ac.jp

CC-EPOC による成績評価を行う。評価項目は、実習前の学習態度、医師・患者関係、時間管理・服装・態度、職種間の連携に関するスキル、診療態度・学習意欲に関して、診療・スキルへの姿勢、および総合評価である。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

【集合場所】

- ：1 病棟 8 階カンファランスルーム
- *：整形外科外来
- ：北臨床棟 2 階カンファランスルーム
- ：中央放射線部透視室
- ：リハビリテーション科外来

【その他注意事項】

1. 時間厳守

月曜日 朝 8 時 00 分：北臨床棟 2 階カンファランスルームに集合
火・水・木・金曜日 朝 8 時 30 分：1 病棟 8 階カンファランスルームに集合
症例検討の準備もそれまでに終了のこと。

2. レポート

担当した症例のうち 1 症例につきレポート（所定のレポート用紙にまとめる）を作成し、実習終了後 2 週までにメールにて提出すること。

3. 臨床現場における服装に考慮すること。

整形外科学 / リハビリテーション科 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
<p>第1回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 オリエンテーション、病棟実習、総回診、抄読会 担当 宮腰・本郷・粕川・野坂・永澤・土江</p>	<p>【朝 8 時 00 分 北臨床棟 2 階カンファレンスルームに集合】 症例検討会 オリエンテーション 講義：骨折 病棟実習/外来実習 【午後】 術前術後カンファレンス 総回診 抄読会</p>
<p>第2回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術実習、外来実習 担当 本郷・粕川・野坂・白幡</p>	<p>【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 講義：骨・関節の単純レントゲン写真の見方 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 リハビリテーション実習 外来実習/手術実習</p>
<p>第3回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、外来実習 担当 宮腰・永澤・白幡・工藤・木村</p>	<p>【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 糸結び実習 病棟実習/外来実習 【午後】 症例発表の準備 講義：手外科疾患 脊椎検査</p>
<p>第4回 木曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術実習、外来実習 担当 宮腰・野坂・木島</p>	<p>【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 講義：骨代謝 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 外来実習/手術実習 講義：股関節疾患</p>
<p>第5回 金曜日 [8:30-12:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術実習、外来実習 担当 永澤・木島</p>	<p>【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 講義：スポーツ傷害 病棟実習/外来実習/手術実習 *ギプス巻き実習</p>
<p>第6回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、外来実習、総回診、抄読会 担当 宮腰・本郷・粕川・野坂・永澤・工藤</p>	<p>【朝 8 時 00 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例検討会 症例発表 講義：脊髄損傷 病棟実習/外来実習 【午後】 総回診 抄読会</p>
<p>第7回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術見学、外来実習 担当 本郷・粕川・野坂・白幡</p>	<p>【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 リハビリテーション実習 外来実習/手術実習</p>
<p>第8回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、外来実習 担当 永澤・白幡・工藤・木村</p>	<p>【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 講義：腕神経叢損傷 病棟実習/外来実習 【午後】 講義：整形外科における皮弁 脊椎検査</p>

整形外科学 / リハビリテーション科 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
<p>第 9 回 木曜日 [8:30-17:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術見学、外来実習 担当 野坂・木島</p>	<p>【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 講義：重度四肢外傷 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 外来実習/手術実習 講義：下肢機能再建</p>
<p>第 10 回 金曜日 [8:30-12:00] 副題 ミニ講義、病棟実習、手術見学、外来実習 担当 永澤・木島</p>	<p>【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 講義：小児肘関節外傷 病棟実習/外来実習/手術実習</p>